

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

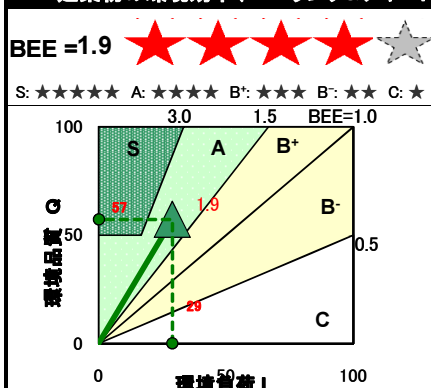
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都ヨドバシカメラ新築工事	階数	地上8F
建設地	京都府京都市下京区烏丸通七条下	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	580 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	物販店、飲食店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年9月 予定	評価の実施日	2009年10月14日
敷地面積	9,740 m ²	作成者	
建築面積	8,775 m ²	確認日	2009年10月15日
延床面積	72,991 m ²	確認者	

外観パース等

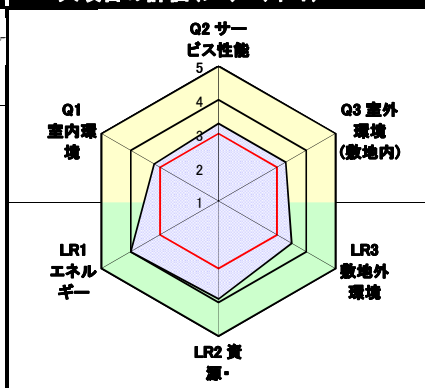
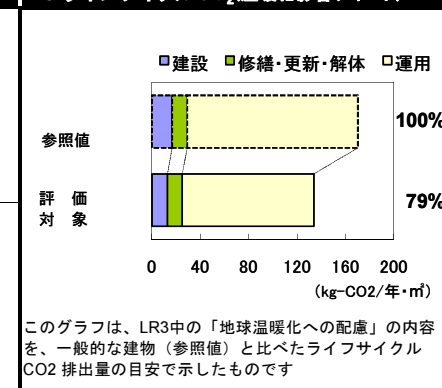
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

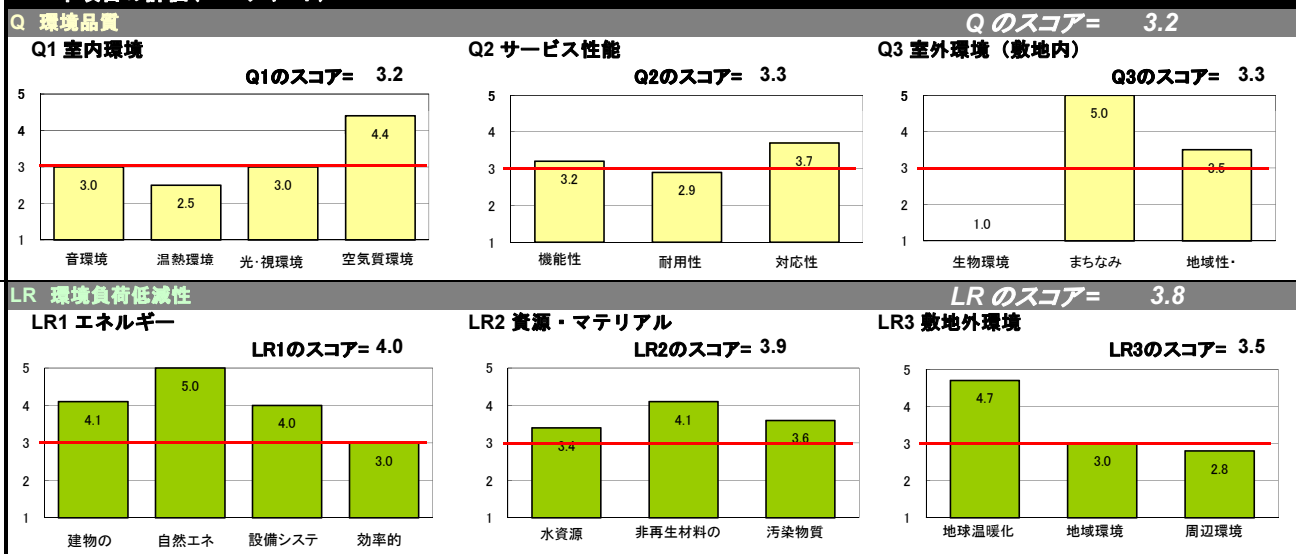
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
歴史都市まちづくり中心の施設となるため、景観配慮に重点をおいた計画としている。 環境配慮への姿勢を消費者に分かり易い施設とする。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 物販店舗に十分な居住性を確保する。	Q2 サービス性能 メンテナンス性を重視した計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 通行者に対して配慮した計画とする。
LR1 エネルギー 外光利用、自然通風に配慮している。 自然エネルギーを直接利用する。 冷水蓄熱槽による空調方式	LR2 資源・マテリアル 節水対策を行う。 井水を利用することで水資源を保護する。 資材にエコマテリアルを採用する。 既存躯体利用、高炉セメント、電炉鋼	LR3 敷地外環境 渋滞を起こさない十分な駐車要領、車路計画とする。 敷地外への雨水に配慮した計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される